



＼ 毎月お届け！ ジューカスタッフのコラムページ ／

一級建築士・青木俊太郎の建築の知識が豊かになるコラム

青木が建築を語る動画

旅と僕と名建築

「グランドセイコー雫石」／岩手県雫石町（2020年7月開館）

今回紹介する建物は岩手県雫石町の「グランドセイコースタジオ雫石」。隈研吾氏が設計した木造建築で、ブランドフィロソフィー「THE NATURE OF TIME」を具現化しています。NATUREには“自然”という意味の他に“本質”という意味も込められています。グランドセイコーのものづくりに対する想いやこだわりを歴史から学び、実際の作業風景を一連の流れで体感できる空間・動線づくりがお手本のようでした。

雫石という大自然の立地条件から外壁を木の大和張りにして大屋根をかけることで、高級感を出しつつも土地の雰囲気と調和した印象を感じます。大和張りを選択した隈氏の意図には、グランドセイコー＝時計＝一定の時を刻む＝リズムという解釈があり、外壁材にも一定のリズムを持たせる意匠をしていました。さらに、法規的

に必要な排煙窓の外側に外壁材を張ることで外観を整える工夫も。通路の天井は間接照明に床吹き出し空調とすることで限りなく無駄を排除したデザインになっており、グランドセイコーのこだわりに負けない建物へのこだわりを感じました。

時計＝リズムという発想ができるよう、自分の解釈の幅を広げるためにもこれから様々な体験をして自分なりの言葉を追求していきたいと思います。

旅のおみやげ②
ウッドクリップ&
ポストカード

グランドセイコー
見学の際に頂いたお
みや。工場見学を思
い出してもらい、誰
かに話したくなるよ
うなおみやはファン
づくりの工夫ですね。

営業・李大偉が進行中のプロジェクトのプロセスを解説

プロジェクト
マネジメント
コラム

グリーン
ファクトリー
サイト

QRコード

Vol.8
みどりの工場づくり

経済産業省では工場立地法
踏まえ、工場緑化の取組の啓発
図るため、1982年から毎年、
に顕著な功績があった工場を
良工場等表彰制度(通称「全国
工場大賞」)において表彰して
この制度では工場の緑化に
組を次の視点から審査し、受
決定しています。

空間デザイナー・柿澤志保がセレクト&紹介する究極のインテリア

わたししが選ぶインテリア

今日は…

塊根植物(コーデックス)



塊根植物（コーデックス）
アフリカや中東、中南米などに生息する多肉植物の一種。よくサボテンの一種と思われがちですが、同じ多肉植物でも実は違います。根や幹や茎の部分に水分を多く蓄えられるよう、肥大しているのが特徴です。

今回のイチオシアイテムは、姿形が魅力的な塊根植物。塊根植物はコーデックスとも呼ばれ、独特なルックスから人気が高く、愛好家も多い植物です。ぼってりむっちりしたユニークなフォルムはとても愛らしく、そこにあるだけで空間をフレンドリーにしてくれます。水やりが少なく、初心者向けで、変わった植物を探している方や個性的なものが好きな方にピッタリです。ひとつとして同じ形がないのはアートそのもの。空間だけでなく心にも彩りを与えてくれる癒しアイテムです。ここ数年、大手セレクトショップでも取り扱われるなど注目を集めています。特に男性には武骨で歪な樹形が人気のようです。しっかりとポイントを抑えてお世話をすれば何十年も生きてくれます！

The image features a large, stylized 'RAINBOW NOTE' logo on the left side, with 'RAINBOW' in white and 'NOTE' in black, all set against a background of colorful, wavy horizontal stripes. To the right of the logo is a QR code. At the bottom left, there is Japanese text: 'かとうまい 公式サイト'. On the far right, there is a portrait of a young man with short dark hair, smiling broadly.

クリエイティブディレクター・森居綾那が描くリアルタイム漫画

母デザイナーの子育て絵日記

3歳4ヶ月/最近のブーム…夜寝る前にあはなしを聞くこと

3 突然のポツキーゲーム

息子を完全に舐めているので
息子のは尋ねが、私は絶対にしない！

ガバッ

放心状態（可哀想）

コイツなら奪えると確信！

1 こまろの頭の中のピラミッド（予想）

息子は自分よりも下

夫 私 こまろ 息子

2 夜中に嘔吐しまくる（迷惑）

虎視眈々と狙う部長…

3 夜中に嘔吐で起こされる…

大エイエイエイエイ

油にやられた→

4 自業自得な部長でした

おはなしを聞くこと

こまろは元々がなり食い意地が張っている
(ジュースで貰えるオヤツ大好き！)

家でポテトを食べていた時

ジュークから最新情報のお知らせ /

NEWS

中小企業同友会
プランディングセミナー登壇@盛岡
7/20アイーナにてプランディングセミナーを開催。超速体感として普段半年かけて行う軸作りワークを30分に凝縮。岩手、秋田、東京など多くの方に体感頂きました。



NEWS

隈研吾設計「グランドセイコー 雪石」 視察@雪石・八幡平



NEWS

小学校の校章をデザインした デザイナーによる勉強会



FORMATIONS ●8/22紫波・矢巾倫理法人会 | ブランディング講演@矢巾
10/6・7ベンチマーク視察団@尾道

The image is a collage of various items arranged on a surface with a topographic map background. In the top right corner, there's a copy of 'Harvard Business Review' magazine. To its left, a book titled 'DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー' is displayed, with a starburst graphic containing the text 'ジュークおすすめ BOOK'. Below this, a movie poster for 'ハチミツとクローバー' (Honey and Clover) is shown, with a starburst graphic containing the text 'ジュークおすすめ MOVIE'. The bottom half of the collage features several travel documents, including a passport, a green card, and a driver's license, all resting on a topographic map.

イン&アウトプットを鍛える!19大学院開校



1日休養・1日教養・1日発信

「JYUKE」アンリミテッドでは自由でクリエイティブな働き方と生き方を目指しています。裁量労働制を創業時から取り入れ、出張の前後では積極的に美術館や展示会、気になるスポットに足を運ぶことも推奨しています。旅行先からオンラインで会議に出席することも当たり前です。そんな私たちは2020年から週休3日を採用しています。効率よく働き、自身と会社の成長に役立つイン&アウトプットが大切だと考えたからです。しかし、丸1日寝ていました…という休み方は「JYUKE」らしくありません。松下幸之助が日本に定着させた週休2日は「1日休養、1日教養」ですが、今はSNSという個人メディアを無料に持てる時代です。個人ファンをつける絶好の媒体ですし、発信力を身につけることは会社のためにもなります。ということで「1日発信」を加え、「JYUKE」では週休3日を過ごしてもらっています。

ルールは研究テーマ+19個の発信+月1フィードバック

上記のような過ごし方を「19大学院」と名づけました。大学院生と同じ

ように、深掘りしたい、または興味がある研究テーマを設定します。日常の発信方法はブログやSNSなど自由です。年間で最低19個の発信をします。これらは「JYUKEらしい表現」です。日常業務、営業案件ではない19大学院では1人1人がテーマに基づき自由に表現してみて欲しいのです。「自分らしい表現」の確立にも挑戦してもらいます。今の時代、どのような表現、媒体があるのか?を調べるにも良い機会です。

見えてきた各人の特徴

6月に予告、7月から本格始動したこの企画。研究テーマの時点では必ずメンバーや手探りながらも形にしているメンバー、ハマったようで筆と手が進むメンバー、とすでに各人の特徴が見えてきました。先日1回目のフィードバックを行いました。業務では期限までに提出がない場合は注意するが普通ですが、今回はテーマを決めたはずなのになぜ発信がないのか?の理由を本人達の言葉で聞きました。それも彼らなりのアウトプットです。アドバイスで次のステップに進むことができそうで、進み具合も個性として月に1回のフィードバックが楽しみです。



No.08 「ユタカ電業プロジェクト@山口」 プロジェクト@山口 「関東支社リニューアルに次ぐ本社新築計画 「らしさ」を建物に表現せよ！」

ON-GOING PROJECTS

進行中プロジェクトをチラ見せ



2021年11月本社建設チームキックオフ
リノベーションが完成した関東支社

山口県に本社を置く鉄道の情報通信機器製造会社「ユタカ電業株式会社」

本社が持つ機能

今年3月に完成したユタカ電業様の関東支社リニューアルオープンに続き、山口県下関市にある本社の建て替え計画も絶賛進行中です。新築はリノベーションに比べてかかる費用も大きいですが、その分表現できる幅も大きくなります。本社が清潔でスタッフ間のコミュニケーションが取れていれば、採用で訪れた学生は好印象を持ちます。会社独自の特徴的な取り組みが空間に表現され、見学に来た人が面白いと感じれば誰かに伝えたくなる=見学者が増え認知度が上がる=営業・採用のチャンスが増えます。

ユニークな提案で固定概念を取り払う

初回提案で大切にしているのは「現実的」という固定概念を取り払うユニークな提案をすること。もちろん実現可能性は検討しますが、今の本社機能をそのままちょっと良くした建物では建替えという飛躍のチャンスを生かし切れません。ユニークな発想から現実的なプランに落とし込むことはできても、現実的な発想からユニークなプランに変えることはほぼ不可能に近いです。私たちのように全国・世界と多くの企業の面白い取り組み、空間を見ているからこそできる提案があります。

「らしさ」を空間に落とし込むためのプランディング

本社は働くためだけの空間ではなく、社風を見える化できていることが重要です。だからこそプランディングを通して「らしさ」を明確にし、空間に落とし込むというステップが必要です。

徹底的なヒアリングで社員になりきる

本社を設計するにあたって重要なポイント、それは「本質を理解するためのヒアリング力と提案のユニークさ」で

す。なぜ建て替えるのか。なぜこの部屋が必要なのか。どんな時間帯にどんな作業をするのか。社員ではない私たちがお客様の働き方を本当に理解するためには、数年出向しないと無理でしょう。だから、お客様と同じ視点で本社を見られるようなヒアリング力が必要なのです。

マナーを理解&実行できる上で、臨機応変にJYUKEの特徴を立ち振る舞うことができるといいですね。(続きを読むQRコードからお読み頂けます↓)

No.8 加藤の社長ブログ

Design Executive Officer

DEO NOTE



当たり前にできてこそ自由が活きる

前回の記事に「大人になると、できないことを案外教えてもらえない」ということを書きました。特に礼節に関わることは「あ~あ…」と思われるだけで、その場で指摘してもらえることは少ないです。自由はルール・基礎があってこそ。守るべきことを当たり前にできてこそ崩しができます。そこで、一見自由度が高いJYUKEについて考えてみました。うちは、守るべきことは守っているのか?

例えば、

【時間を守る】

好きな時間に働く≠時間感覚がルーズ。「何時に集合」「何時から始めます」「いつまでに」に遅れるのはただの時間を守れない人。

【TPOに合わせた服装】

設計事務所なので地鎮祭が良い例。特に神事には意味がある。伝統を守ることも大事。清潔感があることは絶対条件。個性があることは良いが、法人としての神事でジーンズ等はNG。普段私服だからこそ、急には身につかないでの年明けの仕事始めはスーツで神社に行く、ドレスコードがあるお店に行くなど、年齢に関係なく服装にある程度コストをかけることは大人の嗜み。

【現場では安全第一】

建設会社出身だからこそ、設計事務所になった今でもそのレベルは守るべき。現場ではヘルメット、キャップを被る。肌を出さない。挨拶する。靴の泥は落として車、会社に戻る。など、現場とそこで働く方に敬意を。

【挨拶、お礼などの気配り・心配り】

すぐ&先にお礼する、挨拶する。会長がそうしているが、訪問後はその日のうちにお礼メールをする。絶対先に。誰よりも早く。中小企業はスピードが命です。当然そのスピードはレスの速さにも反映されるべき。

マナーを理解&実行できる上で、臨機応変にJYUKEの特徴を立ち振る舞うことができるといいですね。(続きを読むQRコードからお読み頂けます↓)

note

上記ブログ続きを読めるQRコードからnoteで読みます→→→

